

**株式会社クエスト
2015年度 第2四半期
決算説明会**

2015年11月24日

株式会社クエスト
(JASDAQスタンダード 2332)
代表取締役社長 佐藤 和朗

本日のポイント

1. 売上高は、38億97百万円(前期比+8.5%)、営業利益は92百万円(前期比-24.6%)、経常利益は1億5百万円(前期比-20.4%)となった
2. 2015年度中期計画のテーマでは、ERPソリューションや請負開発が好調。通信や医療など新たな産業領域が拡大し、着実な成果が得られた
3. 景気回復の兆しが見えるものの、不透明な事業環境の中、引き続き有望既存顧客への拡販と新規顧客の開拓、ソリューションビジネスの拡大により計画達成に取り組む

I. クエストについて

II. 2015年度 第2四半期決算概要

III. 2015年度中期計画の進捗状況

IV. 株主還元方針

I. クエストについて

II. 2015年度 第2四半期決算概要

III. 2015年度中期計画の進捗状況

IV. 株主還元方針

I. 株式会社クエストについて

- 上場市場 東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード) 証券コード:2332
- 設立 1965年
- 代表者 代表取締役社長 佐藤 和朗
- 資本金 4億91百万円
- 事業内容 システム開発・保守、インフラサービス、
ビジネス・プロセス・アウトソーシング、IT Value-Upサービス
- 従業員 720名(2015年9月末 連結)
- 決算期 3月末
- 売上高 73億89百万円 (2015年3月期 連結)
- 経常利益 3億24百万円 (2015年3月期 連結)
- 所在地 東京都港区芝浦1-12-3 Daiwa芝浦ビル
- 関係会社 株式会社ドラフト・イン
慧徳科技(大連)有限公司(QUEST (DALIAN) CO.,LTD.)
スペース・ソルバ株式会社
- 認証資格 プライバシーマーク
ISO/IEC27001:2005

I. クエストについて

II. 2015年度 第2四半期決算概要

III. 2015年度中期計画の進捗状況

IV. 株主還元方針

Ⅱ. 2015年度 第2四半期 決算概要

◆ 連結損益の状況 前期実績・計画との比較

(単位;百万円)

	2015年度 第2四半期 実績	対前期比		対計画比	
		2014年度 実績	増減率	2015年度 計画	増減率
売上高	3,897	3,593	+8.5%	3,670	+6.2%
売上総利益	505	493	+2.5%	500	+1.2%
売上総利益率%	13.0%	13.7%	-0.8P	13.6%	-0.6P
営業利益	92	122	-24.6%	70	+32.6%
営業利益率%	2.4%	3.4%	-1.0P	1.9%	+0.5P
経常利益	105	132	-20.4%	80	+31.6%
経常利益率%	2.7%	3.7%	-1.0P	2.2%	+0.5P
四半期純利益	70	86	-19.4%	50	+40.2%
EPS (円)	13.56	16.82		9.69	

売上高(連結)は、38億97百万円、前期比8.5%増加
経常利益は、1億5百万円、前期比20.4%減少

■ 売上高 前期比 8.5%増

- ▶ 大手電機メーカーグループ顧客(半導体等)、通信、医療分野顧客からの開発案件増加
- ▶ 金融分野(生保・損保)顧客各社へのサービス拡大
- ▶ 公共分野(電力)顧客へのサービス拡大

■ 営業利益 前期比 24.6%減 営業利益率 1.0ポイント減

■ 経常利益 前期比 20.4%減 経常利益率 1.0ポイント減

■ 四半期純利益 前期比 19.4%減少

- ▶ 経験者採用費、新人教育費等の増加
- ▶ 50周年記念事業費の計上

セグメント別売上高

◆前期との比較

システム開発14.0%増加、インフラサービス3.3%増加

(単位:百万円)

	2015年度 第2四半期累計		2014年度 第2四半期累計		増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
システム開発	2,148	55.1%	1,885	52.5%	+14.0%
インフラサービス	1,644	42.2%	1,591	44.3%	+3.3%
その他	104	2.7%	116	3.2%	-10.1%
合計	3,897	100.0%	3,593	100.0%	+8.5%

セグメント別売上高

◆前期との比較

システム開発14.0%増加、インフラサービス3.3%増加

(単位:百万円)

	2015年度 第2四半期累計		2014年度 第2四半期累計		増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
システム開発	2,148	55.1%	1,885	52.5%	+14.0%



- ・半導体分野での取引好調
- ・通信、医療分野の開発案件が拡大



- ・金融分野(信託銀行)の統合案件の収束により減少

セグメント別売上高

◆前期との比較

システム開発14.0%増加、インフラサービス3.3%増加

(単位:百万円)

	2015年度 第2四半期累計		2014年度 第2四半期累計		増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
インフラサービス	1,644	42.2%	1,591	44.3%	+3.3%

- ▲ 金融(生保・損保)分野顧客へのサービス拡大
- ▲ 公共(電力)分野顧客へのサービス拡大

- ▼ インフラ構築等の請負案件が減少

連結貸借対照表

◆前年度との比較

総資産が361百万円、7.1%減少

(単位;百万円)

	2015年度 第2四半 期末	対前年度比		コメント
		2014年度 期末	増減額	
資産合計	4,705	5,066	-361	
流動資産合計	3,390	3,693	-303	現預金の減少(-139) 有価証券の減少(-201)
固定資産合計	1,314	1,373	-59	投資有価証券の減少(-118) 繰延税金資産の増加(+53)
負債及び純資産合計	4,705	5,066	-361	
負債合計	1,057	1,181	-124	未払消費税等の減少(-121)
純資産合計	3,647	3,885	-238	利益剰余金の減少(-110) 有価証券評価差額金の減少(-131)

連結キャッシュ・フロー

◆今期の特徴

現金及び現金同等物の期末残高は、前期比2億83百万円の減少

(単位;百万円)

	2015年度 第2四半期	対前期比		コメント
		2014年度 第2四半期	増減額	
営業活動によるCF	-58	187	-245	未払消費税等の減少(-121) 売上債権の減少(-75) 引当金の減少(-24)
投資活動によるCF	100	601	-501	有価証券の償還(+100) 投資有価証券の取得(-76) 前期は定期預金払戻有り(-517)
財務活動によるCF	-180	-154	-26	配当金の支払による減少 (記念配当1株当たり5円増加)
現金及び現金同等物 の増減額	-139	635	-774	
現金及び現金同等物 の期末残高	1,877	2,160	-283	

2015年度 通期連結業績計画

◆連結損益計画

景気回復の兆しが見えるが、需要を的確に把握し、着実な取り組みを通して、計画を達成する

(単位:百万円)

	2015年度 計画 (期初計画通り)	対前年同期比	
		2014年度 実績	増減率
売上高	7,850	7,389	+6.2%
営業利益	320	306	+4.3%
営業利益率%	4.1%	4.1%	±0.0P
経常利益	335	324	+3.3%
経常利益率%	4.3%	4.4%	-0.1P
当期純利益	215	196	+9.6%
EPS(円)	41.59	37.95	+9.6%

2015年度 通期連結業績計画のポイント

売上高 前期比+4.6億円 (+6.2%)

- アカウントマネジメントの徹底
- ソリューション営業の強化による新規顧客拡大
- 通信、医療分野の開発案件の拡大
- 大手システムインテグレーターとの協業加速
- 調達力強化による案件受注体制の整備

営業利益 前期比+14百万円 (+4.3%)

経常利益 前期比+11百万円 (+3.3%)

- ERP、セキュリティソリューションビジネスの拡大
- プロジェクトマネジメント強化による不採算案件の抑制
- 請負開発型案件の品質管理体制の確立

I. クエストについて

II. 2015年度 第2四半期決算概要

III. 2015年度中期計画の進捗状況

IV. 株主還元方針

【クエストのビジョン】

お客様とともにITの価値を高める信頼のパートナー

【クエストの中期経営方針 2015-2017】

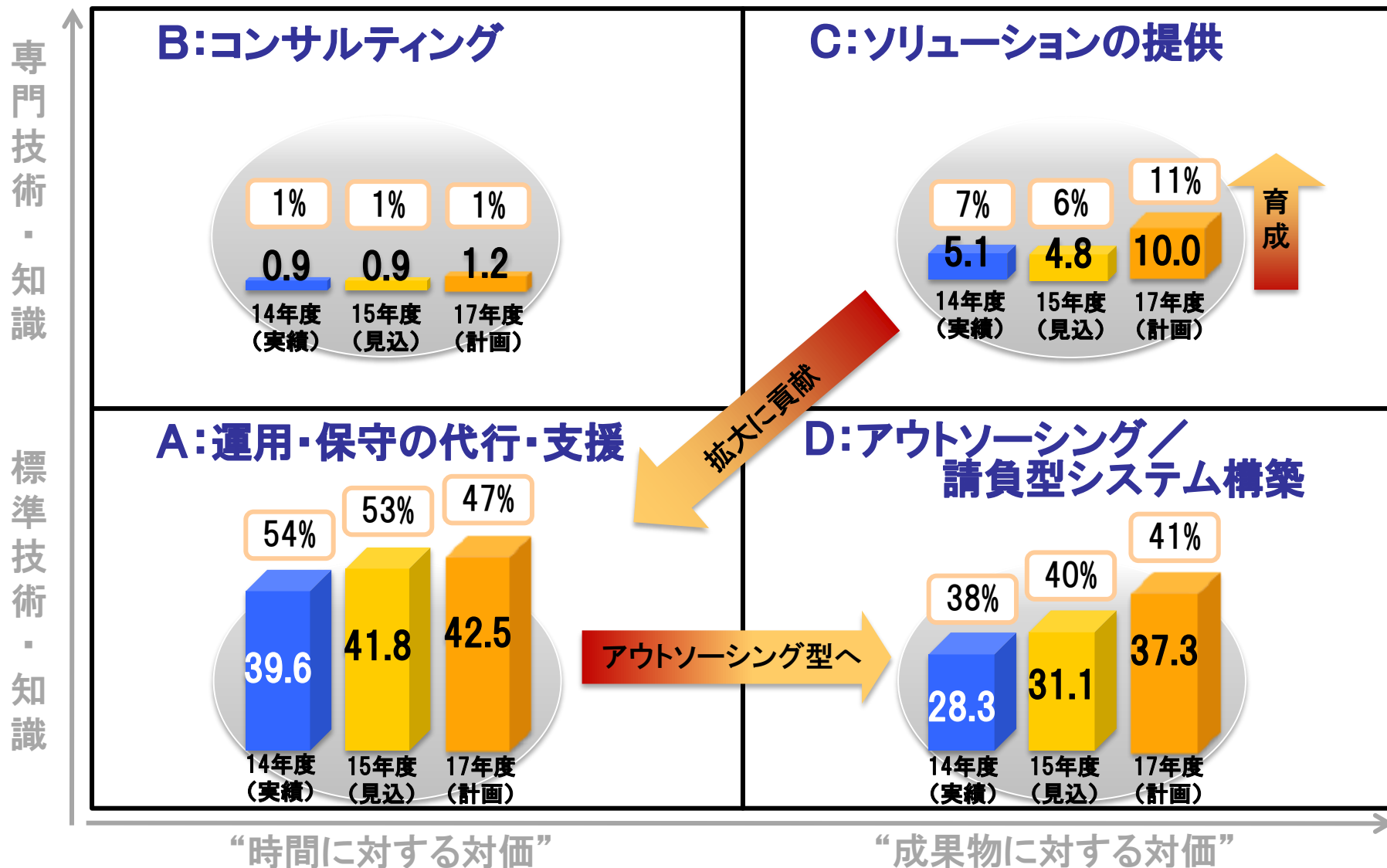
成長し続ける、価値を創造し続ける連鎖を築く

1. 新たなサービス形態への参入・事業構造の変革
2. 新たな産業領域への参入・産業ポートフォリオの変革
3. 新たな技術・サービスの提供
4. 事業体質の強化

1. 新たなサービス形態への参入・事業構造の变革

連結売上高構成目標(億円)

売上高比率



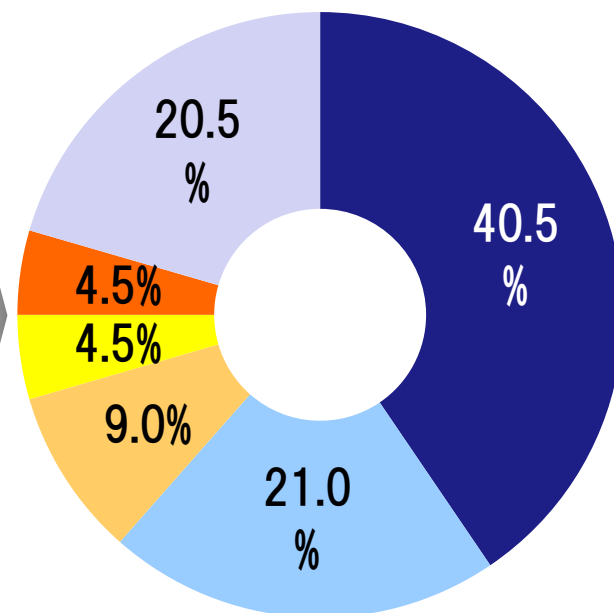
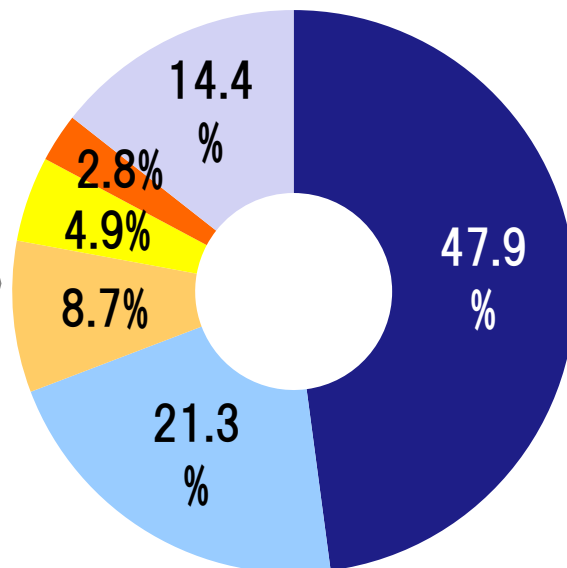
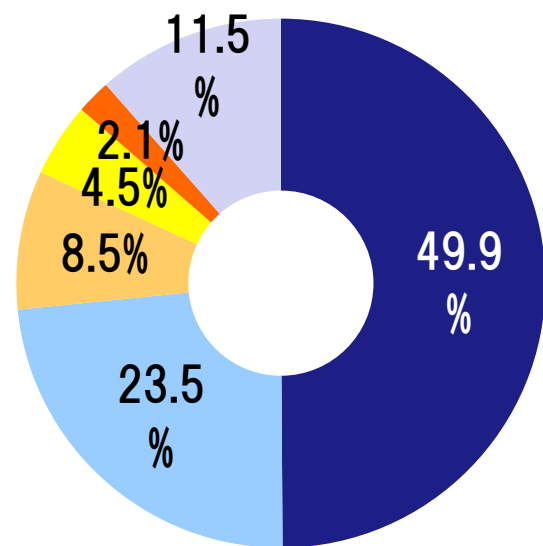
2. 新たな産業領域への参入・産業ポートフォリオの変革

- 成長産業にフォーカスすることによる成長エンジンの獲得
- グローバルITベンダーやSierとの協業強化によるベースロードの確立

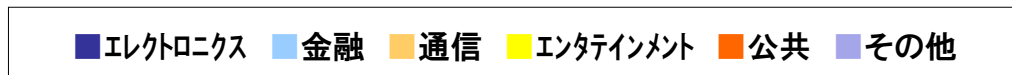
2014年度
実績

2015年度
見込

2017年度
計画



その他 内訳	FY14	FY15	FY17
・Sier	5.8%	4.6%	7.0%
・自動車	1.0%	1.4%	3.0%
・他	4.7%	8.4%	10.5%



Ⅲ. 2015年度中期計画の進捗状況

中期計画テーマ

2015年度の進捗と成果

事業構造の変革

- ソリューション事業の強化
 - ・ ERPビジネスの拡大(大手Slerとの協業、BASQUETの販売)
 - ・ セキュリティサービス領域の拡大 ▶
 - ・ スペース・ソルバ社との業務・資本提携 ▶

産業ポートフォリオの変革

- 成長産業にフォーカスした有望顧客の開拓
 - ・ 通信、医療系分野への優先的リソース投入
 - ・ 大手Slerとの協業による新分野開拓

新たな技術・サービスの提供

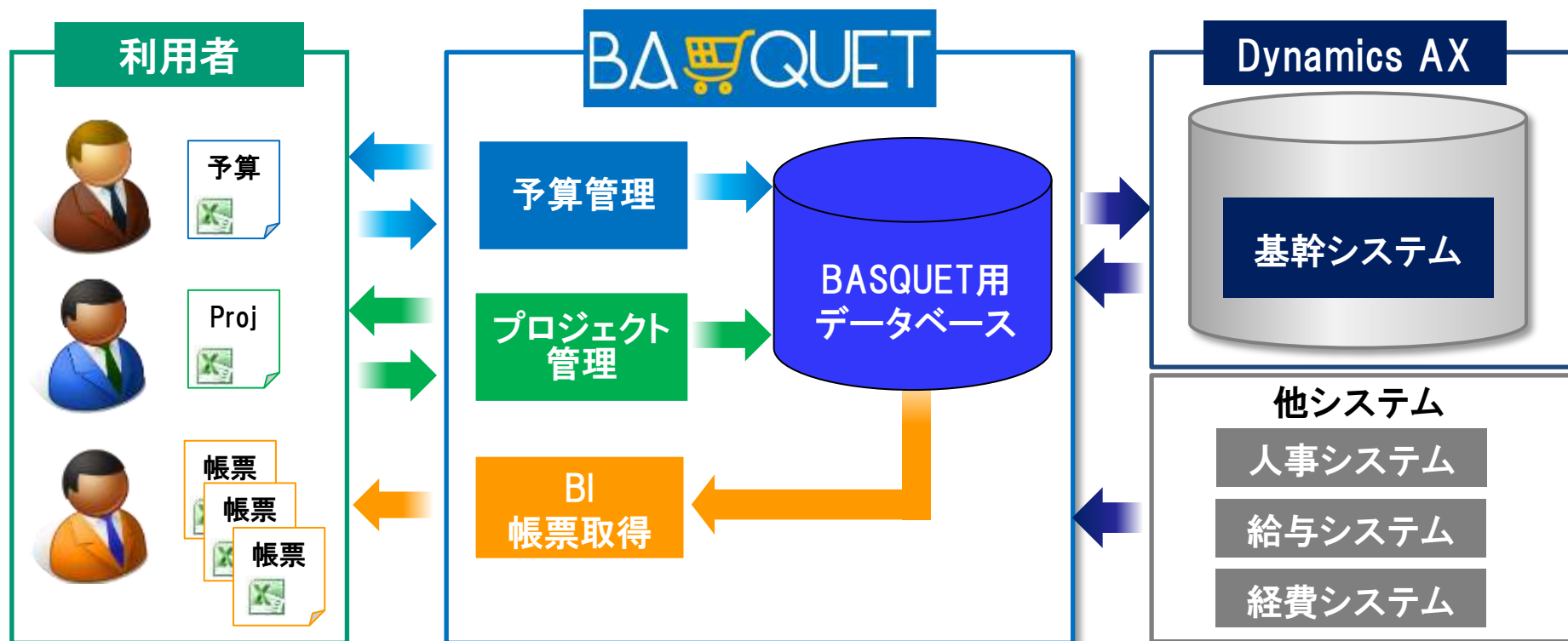
- スマートソリューションビジネスの展開
 - ・ アーティストサイトのCMS支援
- クラウドビジネスの展開
 - ・ 顧客のクラウド(AWS)リモート運用サービスの提供開始

事業体質の強化

- 品質管理体制の強化
 - ・ 品質維持の方法論確立、PM/PLの育成
- 技術・リソースを補完する協力会社連携強化
 - ・ 新規協力会社開拓、戦略パートナー化の推進

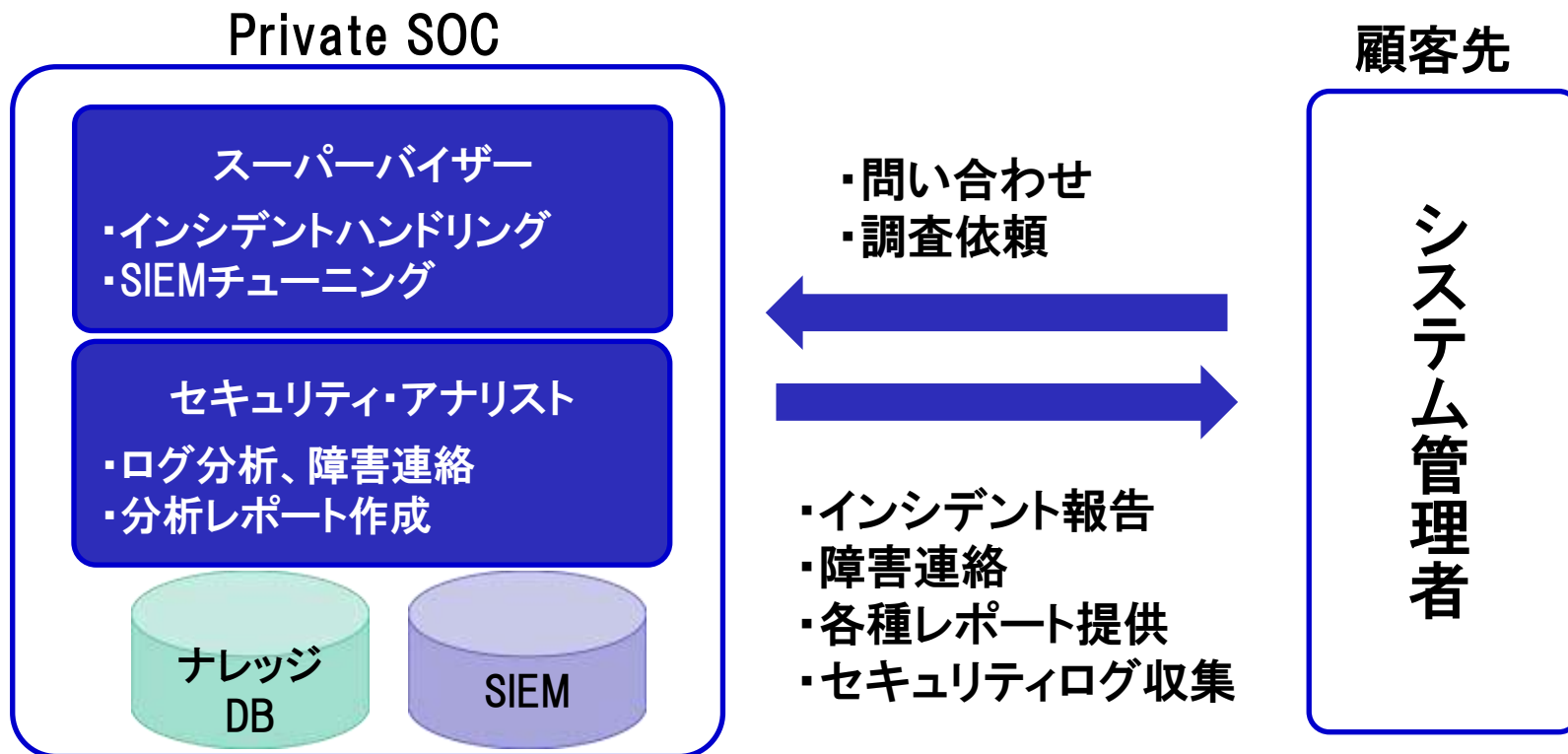
【Cゾーン】 ERPソリューションビジネスの拡大

- 大手製造業・広告代理店顧客への開発・導入案件獲得
 - ・電動工具製造販売業：国内各システムI/F、販売、購買管理機能構築
 - ・総合インテリア製造販売業：生産管理、購買管理、移行
 - ・医療用内視鏡製造販売業：IBMとの協業（企画、レビューを担当）
 - ・広告代理店：コンファレンス・ルーム・パイロットの実施、BASQUET導入見込み



【Cゾーン】 インフラセキュリティソリューション

- 大手セキュリティベンダーのSOCモデルを活用した、Private SOCの立ち上げ、オンサイト技術サービス支援サービスを展開
- 上記に加え低価格なクラウド型SOCサービス(Quest Managed Security Service)の提供開始



※ SOC Security Operation Center

※ SIEM Security Information and Event Management

【参考】スペース・ソルバ(株)との業務・資本提携

スペース・ソルバ社の概要

設立	昭和61年(1986年)8月	上場	非上場
所在地	東京都中央区日本橋大伝馬町	代表者	代表取締役社長 瀧川 豊
資本金	2億円	売上高	15億37百万円(2014年度実績)
従業員数	74名 (2015年9月末現在)	決算期	12月



<サービス>

- ・コンサルティングからシステム開発、保守までのワンストップサービス
- ・IT Value-Upサービス
- ・ビジネスプロセスアウトソーシング

<顧客>

- ・特定の手顧客(エレクトロニクス、金融、エンタメ、通信、医療)

提携

SPACE SOLVER

<サービス>

- ・SAPソリューション
- ・エンベデッドシステムソリューション
- ・オープンシステムソリューション

<顧客>

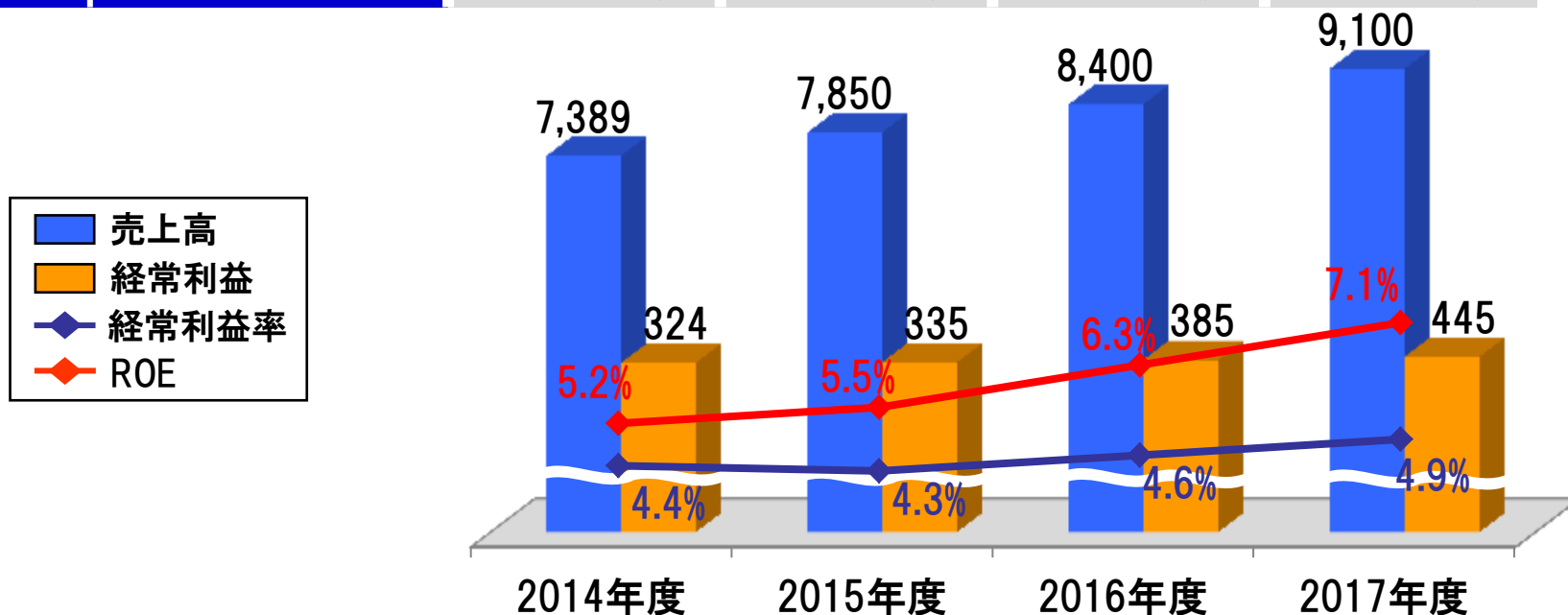
- ・大手製薬会社
- ・大手Sier

- ERPソリューション(SAP R3)の拡充
- 両社顧客へのクロスセールス

※スペース・ソルバ株式(20%)を取得し、持分法適用会社化

2015-2017年度 中期計画 目標経営指標

経営指標		2014年度 (実績)	2015年度 (計画)	2016年度 (計画)	2017年度 (計画)
成長性 指標	売上高(百万円)	7,389	7,850	8,400	9,100
	経常利益(百万円)	324	335	385	445
	売上高増加率	+4.2%	+6.2%	+7.0%	+8.3%
	経常利益増加率	+11.9%	+3.3%	+14.9%	+15.6%
収益性 指標	経常利益率	4.4%	4.3%	4.6%	4.6%
	ROE	5.2%	5.5%	6.3%	7.1%



■ 成長目標 : 売上高9,100百万円、経常利益445百万円
■ 収益目標 : 経常利益率 0.5ポイントアップ、ROE 7.1%

I. クエストについて

II. 2015年度 第2四半期決算概要

III. 2015年度中期計画の進捗状況

IV. 株主還元方針

IV. 株主還元方針

～株主重視の経営の実現に向けて～

【株主還元方針】

株主のための企業という経営スタンスを従来より堅持するとともに、株主の皆様に対する安定的な利益還元の実施を経営の重要課題と位置づけ、業績の伸張に合わせて、将来の技術獲得や人材確保に向けた十分な内部留保を確保するとともに積極的な利益配分を行ってまいります

【剰余金配当金基本方針】

- ・ DOE*(純資産配当率)を指標に採用、連結DOE5.0%を目指す

【2015年度の株主還元施策】

- ・ 期末剰余金配当は、普通配当金1株当たり30円を予定
- ・ 2014年度実績 DOE 4.8%

(注) * : $DOE = \frac{\text{普通株式に係る1株当たり個別配当金(年間)}}{(\text{期首1株当たり純資産} + \text{期末1株当たり純資産}) \div 2} \times 100$

本日はありがとうございました

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている株式会社クエストの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願い致します。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、世界情勢などが含まれます。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。